

泉大津市議会議員 3期目
南出けんいち

元気な泉大津をつくる!

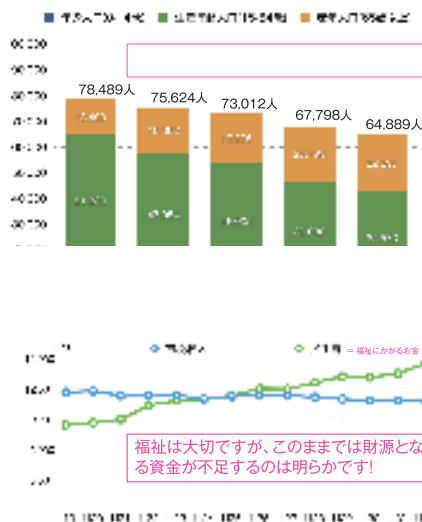
第23号 2016年11月発行
泉大津市助松町2-2-9
TEL:0725-24-7071
FAX:0725-24-8717
mail:info@mina-ken.net

活動通信第23号(政策集)

泉大津市の現状と課題



- 子供や働く世代の人口が減り続けている…
- 市税収入が減り続けている…
- 福祉にかかるお金が増え続けている…
- 国からの補助金等は減らされるばかり…
- 市政のビジョンがなく、市職員のやる気は下がり続けている…
- 他にも課題はたくさん…
- 市民会館や消防庁舎一带の跡地の利活用
- 老朽化した施設の再整備
- 大きな可能性を秘めた港湾地区の有効な活用法が示されな
- まったなしの病院経営問題



4年後では遅すぎる!

これ以上、先送りすることは絶対にできない!!

市議会議員として約10年間、議会で積極的に提言してきましたが、将来を見据えた行財政改革や、人が根づいてまちが活気を取り戻すための根本的な対策は進んでいません。時代は明らかに変わり、市民を取り巻く環境は大きく変化しています。この現実を正しく捉え、真正面から取り組む覚悟が必要です。

子育て中の親として、高齢になっていく親をもつ子として、
次の時代を担う働き盛りの世代として、このままではいけない!

だから今、立ち上がります!



これまでの活動実績

人づくりの実践



大人が大学生を、大学生が小中高生を指導する教育文化を定着させながらまちづくりを推進。

商店街の活性化



インターン生と地域住民が共に、コミュニティ創出と経済活動を連動させた事業企画を実践中。

官民協働・企業誘致



高島屋泉北店ででの地場産品の企画販売や、海外への中古車輸出関連企業の誘致が実現。

地域課題は地域で解決



知識と技術を習得した人財を育て、健康づくりサポートや人生を豊かにする勉強会を開催。

予算ゼロからの公園再生



予算ゼロから市民参加型で、季節ごとのイベントやベンチづくり、花づくりを手掛けている。

地域間連携



淡路島の社会起業家と連携し、食・農業体験や歴史教育など相互の地域づくりを推進中。

体験型の食育



わくわく農業体験、学校屋上菜園、地元料理人と学生による食育教室等を実践中。

育った学生が活動



子供の食育、論語塾、まちづくり、寺子屋、市の事業への参画等、地域で行動する若者が増加。

実際にやってみて分かったこと

人づくりは、まちづくり

「このまち・あの人のおかげで成長できた」と実感した者は、まちのために恩返しがしたいと帰って来ます。つまり、**まちづくりを通じて若者を育てることは、将来のまちの担い手を育てることになるのです。**人財を育てるためのまちづくりを、泉大津市全域に浸透させることが重要です。

まちの力が民間企業を呼び込む

企業は自社の技術や人財・ノウハウを生かすことができる「場所」を探しています。泉大津市が企業に選ばれるまちになれば、まちに活気が生まれます。そのためには一人でも多くの市民が**「まちの未来は自分たちでつくる」**といった考えを持ち行動することが大切です。

介護保険料の上昇は抑制できる

自分の足で歩ける状態を永く維持するための方法を伝えることによって、身体機能の改善事例が続出。健康を回復・維持することで**介護保険料の上昇を抑制し、税金の支出も抑制できることを実感しています。**

7万6千人の市民が、それぞれにできる1歩を踏み出せば、
まちは必ず変わります。
市民参加のまちづくりで、泉大津に変革を起こしたい。
もっとできる! まだまだやれる!
市民のみなさんと一緒に「**元気な泉大津**」をつくります!



泉大津の可能性を生かすための政策

「泉大津市まち・ひと・未来づくりビジョン※」の策定

市民の学び・子どもの学び・職員の学びを3つの柱に、地域のことは地域で解決できるまちづくりを実現するため、次世代を担うリーダーを育成するための中長期ビジョンを策定。

「市民まちづくり会議※」の設置

地域の代表が自らの地域づくりやリーダー育成の方策について協議し、企画立案。これについて予算を確保し事業化を行うことにより、「地域の地域による地域のための事業」を展開。市民会館や消防庁舎一带の跡地の利活用についても、明確なビジョンを策定。

「いずみおおつ学生議会※」の設置

15歳から22歳まで(案)の学生を公募し、学生議員・委員として認定。泉大津市の未来を考え、自分たちができる行動を企画立案。これについて予算を確保し事業化を行うことにより、自分が将来担うことになる「泉大津市」のまちづくりに参画。

「働く女性応援宣言※」の推進

育児や介護など、働きたい女性の多くが抱える課題を解消し、家庭と仕事の両立が可能となる「多様な働く場所」「保育と教育機能を有した場所」を市民や民間と連携したコミュニティにより実現。

防災力の強化

市民の防災意識の向上と地域内の防災組織の強化拡大に向け、地域コミュニティを中心とした防災のまちづくりを積極的に支援します。

※仮称

憩いとふれあいのまちづくり

公園の再整備

老朽化した設備を単に更新するのではなく、市民のアイデアと民間力を活かし、地域に愛され、誰もが集える空間へと再整備します。

まちいっぱい緑と花

市民による緑化推進活動に民間技術や大学研究を取り入れ、まち全体が緑と花で包まれるよう、中長期的に推進します。

「がんばろう基金」の活用

地域課題の解決や地域の発展に貢献する、地域活動や市民活動をより一層支援します。

利便性よりも安心安全

車優先で利便性中心のまちから、歩行者やコミュニティが優先される、安心安全のまちづくりに、中長期で転換していきます。

0歳から100歳までのひとづくり

健康で元気に活躍

文化やスポーツ振興事業を充実させ、健康寿命を延ばすための環境づくりを地域と連携して取り組みます。

中学校給食の導入

成長期の生徒の食育の観点から、また「働く女性応援宣言」の一環として家事負担軽減の観点からも実施に向け取り組みます。

生き抜く力を育む

民間の人財や教育機関と連携し、子どもの可能性を最大限引き出し、道徳心や将来の職業観など子どもの「夢」や「志」を育みます。

読書量日本一のまちづくり

語彙力を高め、自ら考え表現できる力を養うために、子どもたちの読書量を増進。そのために、図書館政策の見直しと、能力開発教育の導入を実現します。

地域経済を元気に

伝統と革新の融合

地域の歴史や文化・産業・知的財産などを活かした多様な協働が興り、オープンイノベーションが生まれるまちづくりを進めます。

新しい産業をつくる

泉大津フェニックス地区（港湾エリア）において港湾レジャー振興と社会貢献型産業創出のビジョンを描き、新しい地域産業を創造、新たな雇用を創出します。

創業サポート

商店街をはじめとした空き店舗や空き家等を活用した、新たな創業を促進。起業家育成から創業環境の整備まで一貫してサポートする「創業トータルコーディネート体制」の構築を目指します。

インターンシップ制度を創設

地域人材育成と確保のため、企業やまちづくり団体等へのインターンシップ制度を創設し、活動をサポートします。

7万6千人の市民が、それぞれにできる1歩を踏み出せば、
まちは必ず変わります。
市民参加のまちづくりで、泉大津に変革を起こしたい。
もっとできる! まだまだやれる!
市民のみなさんと一緒に「**元気な泉大津**」をつくります!



泉大津市を継続的に発展できるまちにするために

【政策実現のために必要な財源は以下により確保します】

- ・市長報酬を20%、退職金を40%カットし、人財育成等の財源にします(4年間で約1650万円を捻出)。
- ・市の業務を再点検してアウトソーシング(外部委託)を行うなど改革を推進し、ムダを排除します。
- ・老朽化する公共施設の統廃合や複合化による再構築など適正配置を行うことにより、効率化を図ります。
- ・民間活力と連携した公共インフラの整備や運営方法を検討するためPPP制度を導入します。財源負担の軽減と、より快適な利用環境の実現を目指します。

南出けんいちはこちらが違う!

市長報酬カット

現市政は、前市政の流れを引き継いで平成28年9月30日までは10%の市長報酬カットを行っていましたが、9月議会に延長の条例を提出することなく、自動的に10月から事実上、10%の報酬増となりました。

一方、南出けんいちはこちらの報酬を20%・退職金を40%カットし、それを財源として泉大津市の未来を創造するための取り組みを進めます。

他の自治体や民間企業との連携

泉大津市の未来を切り拓くためには近隣市町との連携はもちろん広域な地域連携も視野に入れ、より効率的で効果的な行政を目指す必要があります。これまで培ってきた全国的なネットワークにより、具体的な政策を迅速に実行することができます。

また、10年間の活動の中で民間企業との連携も精力的に行っており、実績があります。

若さと行動力

地域における実践活動や、政治家・経営者との全国的なネットワークを形成することができたのは、若さと行動力の賜物です!学生時代、ボクシングで鍛えたおかげで体力・精神力にも自信があります。また、海外にも毎年勉強に行きました。(もちろん自腹です)泉大津市の大きな可能性を最大限に引き出すべく、先頭に立って全力で取り組みます。



▲志高い経営者・学生のネットワークを構築



▲志高い政治家のネットワークを構築



子供たちが自信と誇りを持てるまち。
若い世代が希望を持って暮らせるまち。
高齢者が安心して暮らせるまち。
そんな泉大津をつくるために、
全身全霊をかけて挑戦します!

南出賢一

1979年泉大津市生まれ。上條小学校～小津中学校～浪速高校～関西学院大学 卒業。
高校・大学ではボクシングに打ち込む(全日本選手権ベスト8)。(株)ニチロ・(有)南出製粉所を経て、2007年市議会議員選挙に初挑戦し、歴代史上最高得票でトップ当選。2011年は歴代史上最高得票を更新し再選。2015年は無投票で再選し、現在3期目(無所属)。まちづくり活動を通じた人財育成は定評があり、全国の政治家や経営者が視察に訪れている。家族は、妻と娘2人。龍馬プロジェクト全国会会長代行。林英臣政経塾関西4期生。一般社団法人松南志塾代表理事。